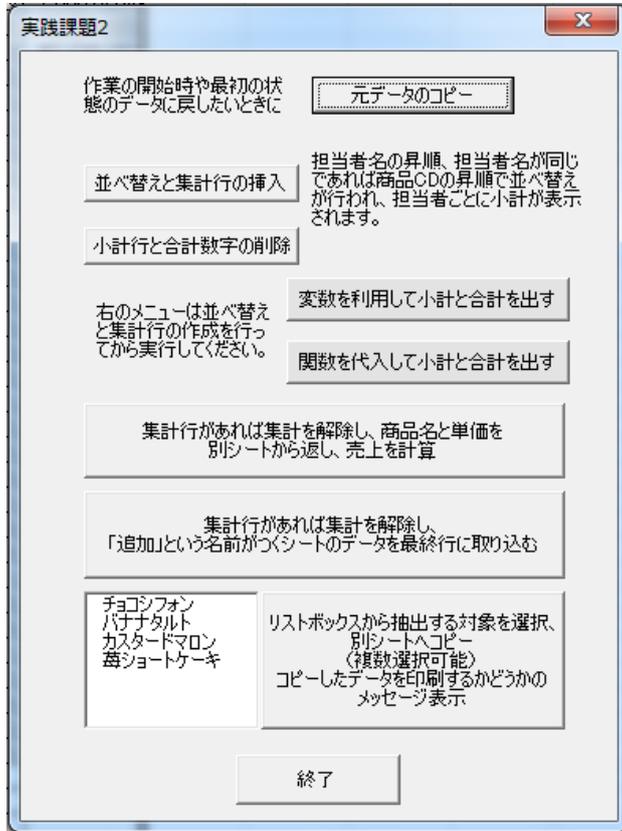


■ 制作課題 2-2

使用ブック:Practice2-2.xlsx

集計を主な目的としたプログラムを作成しましょう。「Practice2_2ans.xlsm」の処理の動きを確認しながら、システムを行きましょう。

■ 完成例



■ HINT - 考え方のフロー

下記の変数名の宣言とプロシージャ名を先に作成しておくとい良いでしょう。変数はユーザーフォームの宣言セクションに記述します。

■ 共通の変数は宣言セクションで宣言

- ▶ ワークシート作業で利用するワークシートの名前 (wsname)
- ▶ 抽出結果で利用するワークシートの名前 (wsname2)
- ▶ 行番号を代入するための変数 (iRow)
- ▶ 列番号を代入するための変数 (iCol)
- ▶ 繰り返し処理に利用する変数 (i)

■ 共通のプロシージャは標準モジュールに作成

- ▶ シートの存在をチェックする
Function シート存在チェック (wsname As String) As Boolean
- ▶ 集計が行われているかどうかのチェック
Function 集計されているかチェック () As Boolean
- ▶ 罫線を整える
Sub 罫線を整える

Memo

解説と解答は一例です。
プログラムの流れに沿って記述できれば、テキストの解答例に合わせて作らなくても問題はありません。

Memo

共通の変数は「Public」をつけて標準モジュールに記述できますが、標準モジュールでは利用しないので、ユーザーフォームに記述した方がコードがわかりやすく、間違えも防げます。変数は、使用する範囲を考えて、適切な方法で宣言します。
行番号や列番号は変数で取らなくても、プログラム実行時に代入する方法を利用してもかまいません。(解答ブックは後者で作成されています。)

Point

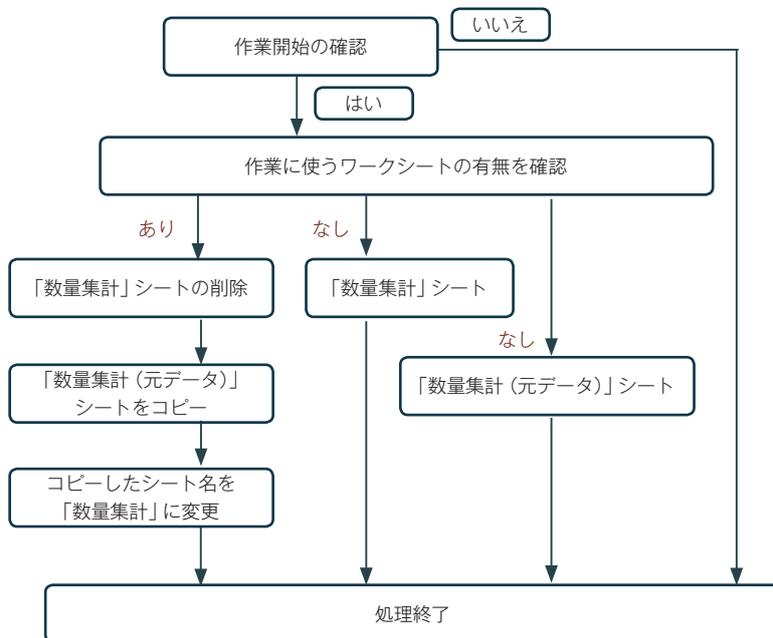
▶ **プロシージャの呼び出し**
シートの存在と集計が行われているかをチェックした結果は、呼び出し元のプロシージャで利用しますので、Function プロシージャ、罫線を整える作業は、プロシージャ内で処理が完結しますので、Sub プロシージャで作成します。プロシージャ名は任意の名前でかまいません。

■ 作成の流れ

- Step 1** ▶ ユーザーフォームを作成します。
リストボックスの値は複数選択可能にします。
オブジェクト名はプロシージャを割り当てる際にわかりやすい名前にします。
- Step 2** ▶ HINT を参考にしながらそれぞれのコマンドボタンに処理を記述します。
- Step 3** ▶ さまざまなケースを想定して動作をテストします。
- Step 4** ▶ ブックを開くと同時に、作業中でもワークシート作業ができる状態でユーザーフォームを表示するプロシージャを作成します。
- Step 5** ▶ [終了] のコマンドボタンにユーザーフォームを閉じるプロシージャを作成します。

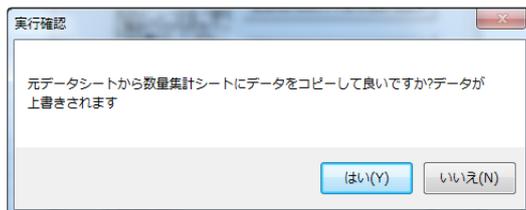
■ HINT- [元データのコピー] ボタンをクリックしたときの処理

処理の流れを整理します。

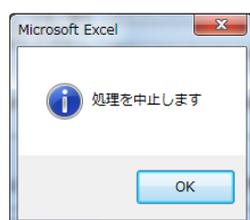


■ 作業開始前の確認

- Step 1** ▶ メッセージボックスで処理を開始するかどうかを確認します。
- ① 「処理を行っても良いかどうか」のメッセージボックスを表示します。



- ② 「いいえ」を選択すると次図のメッセージボックスを表示して処理を中止します。



Memo

処理の流れがつかみづらい場合は、完成例を実行して確認しましょう。

Point

▶ユーザーフォームを開く

ブックが開いたときにユーザーフォームを表示させるには、「ThisWorkbook」モジュール内に「Open」イベントを記述します。モーダルで表示の場合は、ユーザーフォームを閉じるまでエクセルの操作はできません。モードレスの場合は、ユーザーフォームを開いた状態でもエクセルの操作ができます。既定値はモーダル（シート操作不可）で表示されます。

記述例

```
Private Sub Workbook _
    Open ()
    UserForm1.Show _
        vbModeless
End Sub
```

Point

▶ユーザーフォームを閉じる

記述例

```
Unload Me
```

Point

▶MsgBox関数

引数 buttons でボタンとアイコンの種類を指定します。

- ボタンとアイコンを組み合わせる場合は定数を足し算した式を引数に指定します。
例) [(はい) ボタンと [(いいえ) ボタン (定数4) と情報メッセージアイコン (定数64) を同時に表示する場合には「4+64」と指定します。
- ②では情報メッセージアイコンと、[OK] ボタンが表示されていますが、[OK] ボタンは既定のボタンなので、[64] または、[vbInformation] を指定します。